

公表

事業所における自己評価総括表（児童発達支援）

○事業所名	社会福祉法人 偕伴社 こどもデイサービスセンター「ゆうゆう」		
○保護者評価実施期間	8年 1月 10日		～ 8年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	12名	(回答者数) 8名
○従業者評価実施期間	8年 1月 5日		～ 8年 1月 23日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	8年 2月 20日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	言語聴覚士：専門的支援実施加算 希望者に個別の訓練の訓練の時間を提供している 臨床心理士：専門的意見や支援方法のアドバイスを受けられる	言語聴覚士：個々の利用日に合わせて日程を決めて取り組んでいる 臨床心理士：専門的な立場からの味方や意見を聞き支援の方法を確認している	新規利用児を受け入れ必要に応じて個別対象者を増やし加算につなげる 新規利用児の支援について情報を共有し支援の方向性を一緒に考える
2	保護者とのやり取りをライン等で行い連携を密にしている	保護者とは柔軟に連携が取れている、急な予定変更等にもすぐに伝達しやすく細かい伝達等も入れることができる 保護者の困りにすぐに対応できる	ICT化で取り組めるものがあれば取り組んでいく
3	関係機関との連携を柔軟に行っている 支援後の振り返りを行い支援の検証や改善につなげている	支援会議等の関係機関との対話を積極的に行っている 支援をした後記録を取り、さらに支援者側の対応について検証したり改善点を見つけて支援方法の充実を図るようにしている	柔軟に対応できる体制作りで関係機関連携を目指す

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保育所や子ども園、幼稚園の交流や地域の子供の中での交流の機会が少ない	地域のこどもと関わる活動が日常的活動に計画されていない	幼稚園との交流が年1回行っている状況で継続して交流したり他の事業所とのつながりが持てるように相談し計画する
2	保護者の活動への理解はあるが内容の詳細をスムーズに共有できていない可能性がある	保護者懇談会等の保護者への周知について、実施日時等の予定が合わない為実施を予定したが参加者が少なかった	日程の予定を事前に年間行事に加えて、周知できるようにしていく。講演会などの開催で集合するためのイベントを考えている 託児等の準備ができるように準備をしたい。
3			